

## ラグビーの将来を担う子どもたちへ

**知事:**福岡選手のラグビーの原点についてお聞きしたいのですが、始めたきっかけや思い出があれば教えてください。

**福岡:**父がラグビーをしていたので、息子にもさせたいという思いがあったみたいです。きっかけは、私が5歳の時、ラグビー場に連れていかれたことです。ラグビー場のすぐ近くに海があり、練習が終わると海で遊んでアイスを買ってもらうのが楽しみでした。今思えば、アイスに釣られていたのかもしれない(笑)。

**知事:**お父さんの作戦勝ちですね(笑)。昨年11月に大会公式スポンサーの企業からタグラグビー用のボールを1500個寄付していただきました。県内の全小学校に配ってタグラグビー教室などで活用しています。

**福岡:**それは、いいですね!子どもの頃からラグビーボールに触れる機会があるのは、素晴らしいことだと思います。全員が一つになってプレーするラグビーは、協調性も身に付きます。そのことは社会に出た時に実感できると思うので、多くの子どもたちにラグビーに興味を持ってもらいたいですね。福岡県はラグビースクールも多く、トップクラスの選手が大勢いるので、とても恵まれた環境だと思います。

**知事:**どのように練習に励むと福岡選手のように強くなれるのか、ラグビーの将来を担う子どもたちにアドバイスをお願いします。

**福岡:**ダラダラと練習するのではなく、“いまの練習が何のためか”をまず考えて、“その練習を試合でどう生かすのか”シチュエーションを思い浮かべて、一つ一つ考えながら取り組むことが大切だと思います。そして、ラグビーは楽しみながらやってほしいですね。自分自身も好きだったからこそ今まで続けてこられたのだと思

います。本気で打ち込んで勝つ喜びを知り、もっともっとラグビーを好きになってほしいですね。

**知事:**やはり、上達するカギは、成功体験と自分自身が楽しむことですね。福岡県では出場チームのキャンプ地誘致にも取り組んでおり、これまでに福岡県・福岡市、北九州市、春日市が公認チームキャンプ地として決まっています。選手の皆さんが練習に打ち込める環境を整えることはもちろんですが、子どもたちが世界トップレベルの姿に接することで、ラグビーが好きになり、夢や希望を持ってくれたらと願っています。そして、これをラグビー人口の裾野の拡大、競技力の向上につなげるとともに、福岡県、日本、そしてアジアでラグビーを普及させるきっかけにしたいと思います。

## 大会までの残された一日一日を大切に

**知事:**では最後に、福岡選手のラグビーワールドカップ2019™への意気込みをお聞かせください。

**福岡:**ラグビーワールドカップ2019™は15人制ラグビーの集大成だと思っているので、そこで結果を出したいです。“ベストパフォーマンスをするために、いま何ができるのか”を常に考えながら、大会までの残された一日一日を大切にしていきたいと思っています。

**知事:**9月の開催が待ち遠しいですね!

我々もこれから開催準備をさらに加速して、関係者の皆さんとしっかりスクラムを組み、会場だけでなく地域全体をラグビー一色にして、盛り上げていきます。そして、国内外からの誘客と周遊などにつなげていくとともに、この大会の成功を今後の国際スポーツイベントの誘致や運営に生かしていきたいと考えています。福岡選手の活躍を大いに期待しています。本日はお忙しい中、ありがとうございました。

※世界ランキングは2018年11月現在

